

安全データシート
ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル

改訂日 2024年2月21日

1. 化学品及び会社情報

製品名	NucleoBond CB 20, NucleoBond CB 100, NucleoBond CB 500, NucleoBond CB Sample
該当コンポーネント名	Buffer G1
会社名	タカラバイオ株式会社
住所	〒525-0058 滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
担当部署	タカラバイオテクニカルサポートライン
電話番号	077-565-6999
FAX 番号	077-565-6995
製品コード	740507, 740508, 740509, 740572.MUSTER ※Lot. 2312/001(2023年12月製造分)から適用
TaKaRa Code	U0507A, U0508A, U0509A, U0572Q
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	研究用途に限る。診断には使用しないこと。
使用上の制限	情報なし

2. 危険有害性の要約（以下、濃度を記す項目以外は単一物質について示す）

GHS分類

物理化学的危険性	危険・有害性項目	GHS分類結果
健康に対する有害性	危険・有害性項目 急性毒性（経口）	GHS分類結果 区分4
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分4
	急性毒性（吸入：ミスト）	区分4
	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
環境に対する有害性	危険・有害性項目	GHS分類結果

注）上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。なお、健康に対する有害性及び環境に対する有害性については、それぞれ後述の11項及び12項に、「区分に該当しない」または「分類できない」の記述がある。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 飲み込むと有害
吸入すると有害
皮膚刺激
重篤な眼の損傷

注意書き： 【安全対策】
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
取扱い後はよく皮膚を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル
慣用名又は別名	ポリオキシアルキルエーテル、Tergitol 15-S-7、Alcohols, C12-14-secondary, ethoxylated
CAS No.	84133-50-6
濃度または含有率	1 - 3%
化学特性（化学式又は構造式）	分子式：C12-14H25-29O[CH2CH2O]xH 示性式：-
官報公示整理番号（化審法・安衛法）	

4. 応急措置

吸入した場合：	吸入後は新鮮な空気を吸うこと。呼吸停止時は人工呼吸する。必要なら酸素を吸入させる。ただちに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：	すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
眼に入った場合：	眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。ただちに眼科医の診察を受けること。コンタクトレンズをはずす。
飲み込んだ場合：	飲み込んだ後はただちに水を飲ませること(多くても2杯) 医師に相談する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：	水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素、水泡 二酸化炭素（CO2） 粉末
使ってはならない消火剤：	データなし
火災時の特有の危険有害性：	炭素酸化物。 分解生成物の本質は不明である。 可燃性。 蒸気は空気より重く、床に沿って広がることもある。 高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる。 火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれがある。
特有の消火方法：	危険でなければ火災区域から容器を移動する。安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：	自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにする。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置：	蒸気、エアゾールを吸入してはならない。触れないようにすること。十分な換気を確保する。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと。
環境に対する注意事項：	物質が排水施設に流れ込まないようにする。
回収、中和：	不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
封じ込め及び浄化方法・機材：	排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと（セクション 7、10 参照） 液体吸収剤(例. Chemizorb®)で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	特別に技術的対策は必要としない。
局所排気・全体換気：	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項：	換気フードの下で作業すること。吸い込まないこと。蒸気やエアロゾルが生じないようにすること。
接触回避：	データなし
保管	
技術的対策：	特別に技術的対策は必要としない。
安全な保管条件：	密閉のこと。
安全な容器包装材料：	データなし
衛生対策：	汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。取扱い後はよく手を洗うこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：	未設定
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：	日本産衛学会：未設定 ACGIH：未設定
設備対策：	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具：	適切な呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具：	適切な保護手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具：	適切な眼、顔面の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：	適切な保護衣を着用すること。汚した衣類はただちに替えること。

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状态、形状、色など）：	液体、黄色
臭い：	マイルド
融点・凝固点：	データなし
	pH：7.1
	自然発火点：データなし

引火点：243 °C - 開放式引火点試験 - ASTM D 92
沸点又は初留点及び沸点範囲：> 250 °C at 760 hPa
蒸気圧：< 0.01 mmHg at 20 °C
密度及び／又は相対密度：データなし
溶解度：データなし
n-オクタノール／水分配係数：log Pow: 2.72
分解温度：データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：データなし
粒子特性：データなし

可燃性：データなし

動粘性率：データなし

相対ガス密度：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる。引火点より下のおよそ 15 ケルビンからの範囲は危険とみなされている。

化学的安定性：法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。

危険有害反応可能性：データなし

避けるべき条件：強力な熱

混触危険物質：強酸、強塩基類、強酸化剤

危険有害な分解生成物：火災の場合、項目 5 を参照

11. 有害性情報

急性毒性（経口）： LD50：ラット 412 mg/kg
症状：口腔、咽頭、食道、消化管の粘膜の刺激。粘膜の炎症。

急性毒性（経皮）： LD50：ラット（オスおよびメス） 14,000 mg/kg

急性毒性（吸入）： LC50：ラット 4 h 1.06 mg/l
吸入（ガス）：GHS の定義における液体である。

吸入（蒸気）：データなし

吸入（粉じん及びミスト）：データなし

皮膚腐食性／刺激性： 接触すると皮膚に刺激を生じる。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：接触すると目に重度の障害を生じる。

呼吸器感受性：データなし

皮膚感受性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：データなし

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：データなし

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）：データなし

水生環境有害性 長期（慢性）：データなし

残留性・分解性： データなし

生体蓄積性： データなし

土壤中の移動性： データなし

オゾン層への有害性： 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装： 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制 UN No. : N/A

海上規制情報 危険物に該当しない

航空規制情報 危険物に該当しない

国内規制

陸上規制情報 危険物に該当しない

海上規制情報 危険物に該当しない

航空規制情報 危険物に該当しない

特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法： 該当しない

化管法（PRTR 法）： 第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、令第 1 条別表第 1）

消防法： 該当しない

麻薬及び向精神薬取締法： 該当しない

航空法： 該当しない

船舶安全法： 該当しない

16. その他

引用文献等 各データ毎に記載した。

購入者への注意事項：

弊社製品は体外診断用医薬品です。それ以外の目的で使用しないでください。弊社から事前に書面による承認を得ることなく弊社製品を第三者へ譲渡、再販、再販目的で改変すること、または商品製造もしくは第三者へのサービス提供に使用することはできません。製品ウェブ・ページに記載されているライセンス要件の遵守は、この製品の使用に対しても適用されます。これらの記載事項により課されている全ての制約事項を検討、理解して遵守することは、使用者各位の責務です。他の全ての商標は、

それぞれの所有者に帰属します。特定の商標は、全ての法的管轄区に登録されていない場合があります。
